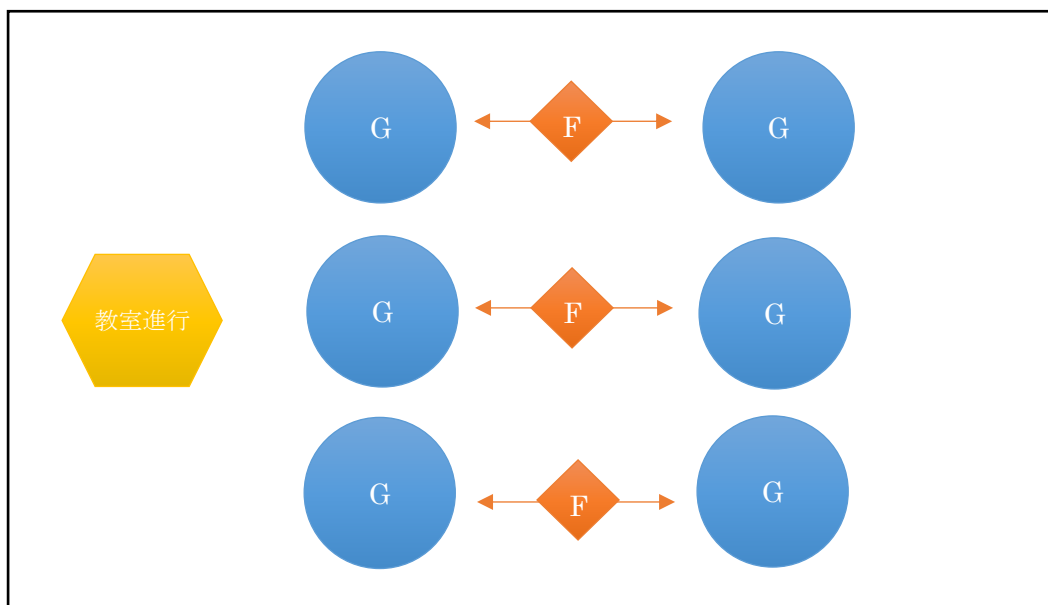


第7回サービス管理責任者等研修検討会

指導者養成研修検討チーム 報告書

1. サービス管理責任者等研修の「指導者」の概要



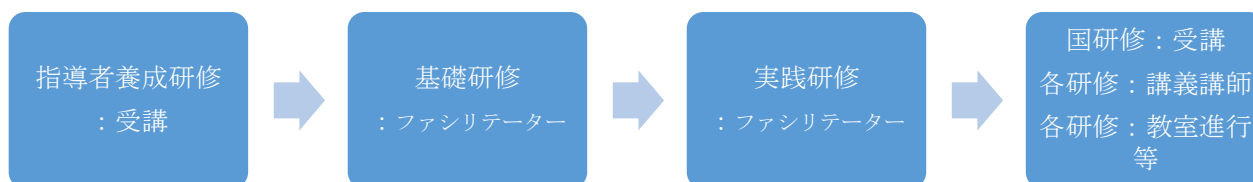
(※G：グループ（各教室6～7グループ？）、F：ファシリテーター（2～3名）)

教室進行・・・全体の進行。研修の重要なポイントを伝達する役割

- ・ファシリテーター経験者から徐々に教室進行担当へとステップアップしていく。

ファシリテーター (F)・・・グループ介入、促進の役割

- ・下記の依頼ルートより依頼した方々は、指導者養成研修を受講し、その後サビ管等研修の基礎研修のファシリテーターとして参加。徐々に実践研修のファシリテーター、教室進行などへステップアップしていく。



- ・サビ管経験は必須としない

(教室ごとの担当ファシリテーターの内、1名はサビ管経験者でなくても可。
ファシリテーションスキルは必要(指導者養成研修受講等))

2. ファシリテーターの募集・依頼方法

1) 依頼先

- ① 各自治体
- ② 職能団体
 - ・ 日本精神保健福祉士協会
 - ・ 社会福祉士会
 - ・ 全国社会就労センター協議会 (SELP)
 - ・ とうきょう会議
 - ・ 各区市の連絡会
 - ・ 東京都社会福祉協議会
 - ・ 東京都精神障害者共同ホーム連絡会 (東京ホーム連)
 - ・ 障害者就業・生活支援センター (なかぼつ)
 - ・ 障害のある子どもの放課後保障全国連絡会 (全国放課後連)
 - ・ 全国児童発達支援協議会 (CDS) 等
- ③ 大手株式会社?
- ④ サビ管人数の多い法人 (研修受講名簿等よりピックアップ)

2) 依頼方法

- A. 実践研修終了後、研修受講生の中からピックアップし依頼
- B. ノルマ的
(自治体、都管轄団体等の場合。人口比等から推薦人数の基準を設定)
- C. 協力呼びかけ (職能団体、ネットワーク等の場合)
- D. 募集の告知

3) 依頼内容 (特典、メリット)

【団体へのメリット】

- ・ ファシリテーターを推薦した団体が優先して研修を受講できる
- ・ 研修協力団体の掲載
都関連の HP などに研修専用のページを作成し、
そこに「認定講師、研修協力団体」として掲載
(研修に関する資料、制度に関する資料などもダウンロードできる HP
になるとなおよい)
- ・ 講師として派遣するスタッフの代わりの人材を補填する事業

(東京都代替職員の確保による障害福祉従事者の研修支援事業) の活用
(都が肩代わりする等手続きなどを簡略化し、人材補填を簡便化)

【個人へのメリット】

- ・優先的に更新研修が受講できる
(協力した研修の数や役割により優先度が変わる)
- ・研修協力によるポイント等により「東京都認定講師」などの資格取得
(各団体の HP 等で公表できる)
- ・他の研修の一部免除 (学びの機会の増加)
- ・謝礼増額 (研修有料化等?)
- ・研修参加費免除
- ・講師、ファシリテーターの交流会、懇親会の定期的な開催
(人事交流の機会)
- ・研修用 HP 等で交流コーナー (登録制) を作る (Q&A 掲示板等)
- ・ステップアップの道筋を可視化する (モチベーション増加)

【その他】

- ・動画配信等で共通講義はサテライト可能に

3. 研修前後の打ち合わせ、反省会

1) 事前打ち合わせ

- ・ファシリテーター：全体打ち合わせ 1 回程度
- ・教室進行：ファシリテーターを含む全体打ち合わせ 1 回
+ 教室進行のみでの打ち合わせ 1 回は必要

2) 反省会

- ・当日実施 + α 必要

4. 指導者養成研修について

1) 内容

- ・研修の全体のねらいと流れ
- ・ファシリテーションについての講義
- ・ファシリテーションの演習

2) 日数：2 日間程度